

令和6年度 第23回埼玉県ミニソフトボール親善大会 競技規則

1. 競技場

- (1) 塁間は14m・投補間は8mとする。

2. チーム編成

- (1) お母さんの出場は常時3名とし、攻撃または守備のみの参加は認めない。
- (2) 1チーム11名とし、打撃は11名で行うが守備は10名で行う。
(注) 当日の参加人数が10名の時に限り、先頭打者が2回打撃を行うが次のイニングは、2回打撃をした次の打者が先頭打者になる。

3. 用具

- (1) ボールはミニソフトボール2号球、バットはウレタンバットとし大会本部が準備したものを使用する。

4. ルール

- (1) 1試合3イニングの表裏の攻撃で得点を競うものとする。
- (2) 出場選手11名全員が打ち終わった時点で攻守交代する。
11人目の打者による得点は、塁打により決定する。
(注) 11人目の打者の打撃が完了し、その打球を処理した守備者の送球が投手板付近にもどったらボールデットとする。
- (3) 投手は打者が打ちやすいボールを投げる。
(速いボールと1.5m以上の山なりの投球は審判が注意する)
(注) ストライクは赤色のゾーンマットにボールが触れた時
- (4) 死球はなし、四球・三振はあり。バント無し(ボールデット打ち直し)。
- (5) 各イニングの最後の打者には四球がない。
- (6) 打者が投球を捕球した時はボールデットとする。盗塁はなし。
(投手の手からボールが離れた後、リードすることはできる)
- (7) スライディングは禁止。各塁、走り抜けることができる。
(タッチしてもアウトにならない)。
塁間に引かれた線又は目印を越えると進塁と見なし、各塁共に1塁と同様にフォースプレイで判定する。
但し飛球を捕球された場合は例外とし、帰塁することができる。
- (8) 内野の悪送球については、1個の安全進塁権が与えられる。
- (9) 守備は外野手4名とし捕手以外のプレーヤーは、フェア地域のどこを守ってもよいが、打者の視界内に位置してはならない。
- (10) 外野(本塁から33m)に、円形で3m間隔に造花を立てる、打球が飛球で超えると本塁打、転がって超えると失策を含めすべて2塁打とする。
- (11) 打順表は提出しなくてもよい。選手の交代は自由とする(無通告でよい)。

5. その他のことについては、オフィシャルソフトボールルールに準ずるが、スローピッチルールの2ストライク後のファールは「アウト」については採用しない。

6. 順位の決定は次のとおりとする。

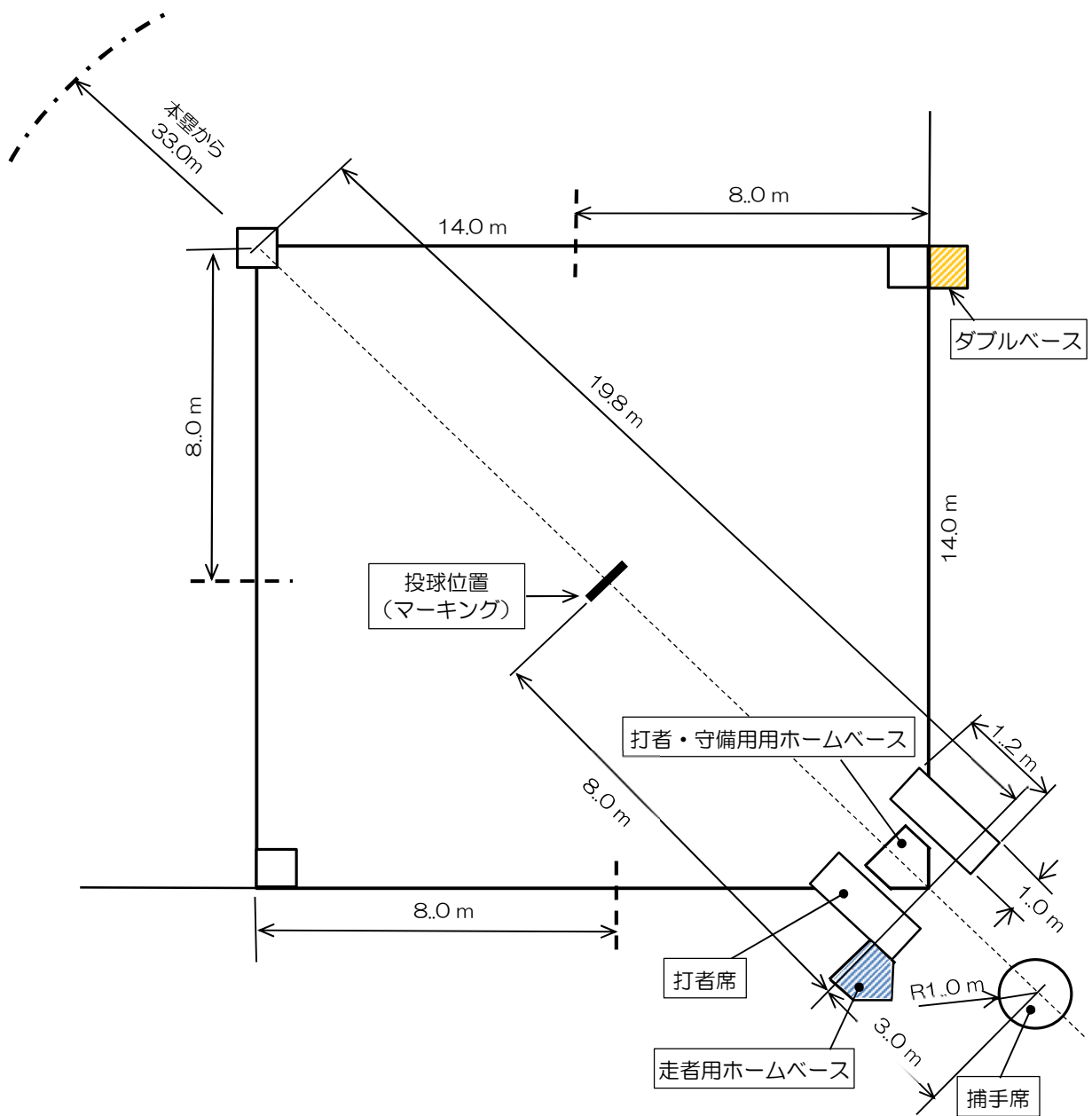
勝ち：2点、引分：1点、負け：0点、同率の時は、

- ① 失点が少ない、
- ② 得点が多い順とし、なおも同率は抽選とする。

7. 各試合終了時は当該両チームで内野グラウンドを整備する。(保護者の協力可)

8. 試合時間50分とするが、後攻チームが3イニング終了まで行う。

ミニソフト用フィールド寸法図



※ 注意事項

- 1) 走者用ホームベースを追加設置し、駆け抜けフォースプレイとし、守備側は守備用ホームベースにてプレイする。
- 2) 塁間に「進塁ライン」を設け、それを越えた走者は元の塁に戻れない。
(打者の打ったボールがフライの場合は元の塁に戻れる)